

# 「江戸から東京へ」テキスト（教科書）の作成について

## テキストの概要

### 趣旨

近代日本の成立過程から現代日本の状況に至るまでの歴史を、江戸開幕から現代までの江戸・東京の変遷を通して考察する。その際、現在の東京に残る史跡や文化財などの身近な教材を活用して、地理的な視点も踏まえ、近現代史の大きな歴史の流れを総合的に理解させるよう工夫する。

### 目標

江戸開幕以降の日本の大きな歴史の流れを、東京にある身近な史跡や文化財を活用し地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させることにより、歴史的思考力を培う。また、日本の伝統や文化とその価値に対する理解を深めることで、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを養う。

## テキストの客観性と公正さについて

●学習指導要領に「客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにする」とあることを踏まえ、相異なる価値観や対立する立場の一方に偏しない客観性の高い資料に基づいて、事実の正確な理解に導くように留意し、史実の認識や評価に対して、記載には慎重を期すよう配慮した。

●平成22年3月に都立高等学校日本史必修化検討委員会を立ち上げ、11月までに10回の検討委員会を開催し内容の検討を重ねている。

●外部委員として歴史と歴史教育に造詣が深く、高い見識を有する次の3名の有識者に監修を依頼している。

**竹内 誠 委員** 江戸東京博物館館長 東京学芸大学名誉教授  
日本近世史 江戸時代研究の第一人者  
著書『寛政改革の研究』（吉川弘文館）他

**高村直助 委員** 横浜市ふるさと歴史財団理事長 東京大学名誉教授  
日本近代経済史、産業史の専門家  
著書『明治経済史再考』（ミネルヴァ書房）他

**佐伯真人 委員** 元文部省視学官 前富山大学教育学部教授  
日本史担当として2度の学習指導要領改訂に従事  
著書『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三晃書房）他

\*委員会には、3名の校長、2名の副校長、7名の教員が携わり、執筆や監修作業に従事している。

## テキストの構成

●口絵・学ぶにあたって・扉... 3ページ

●目次... 2ページ

●本文... 168ページ

\*はじめに... 2ページ  
\*通史34項目各4ページ... 136ページ  
\*9つの特集... 28ページ  
\*おわりに... 2ページ

●巻末資料... 35ページ

\*扉... 1ページ  
\*江戸東京を歩く&江戸東京の年中行事... 16ページ  
\*博物館・図書館紹介... 1ページ  
\*歴史散歩地図... 8ページ  
\*年表... 4ページ  
\*索引... 4ページ  
\*奥付... 1ページ

計 208 ページ

## 作成スケジュール

平成22年度

- 教育モニターアンケート実施
- テキスト試行版の作成
- 3月までに学校へ供給

平成23年度

- 協力校での試行等による内容の改善と充実
- 協力校以外の学校で補助教材として活用

●テキスト完成版の作成

●指導書の作成

●デジタルコンテンツの作成

平成24年度

●デジタルコンテンツの更新

## はぐくみたい学力

①近現代史の基礎的・基本的な知識  
～知識の習得が歴史的思考力の基盤を作る～

②歴史に対する関心及び主体的に学ぼうとする意欲  
～身近なものや場に注目する～

③歴史的思考力  
～過去を分析して現代に生かし未来を豊かにする～

④未来に対する責任ある態度  
～自分たちがこれからの日本の担い手である～

## 編集方針

①学習内容を精選し大きな歴史の流れを総合的に考察させる内容とする。

②江戸・東京が江戸開幕以降現在まで日本の中心であることを踏まえ、江戸時代から現代までを連続してとらえるとともに、江戸・東京を切り口とした近現代史中心の記述とする。

③東京の史跡や文化財、諸資料を活用して歴史的思考力を養うよう工夫する。

④多様な学習対象者を想定して教科書を作成する。

⑤補助教材としてデジタルコンテンツを作成する。

## 誌面の特徴と学習の流れ

①各項目4ページで構成（見開き2ページ×2つのテーマ）

☞学習内容をはっきりとイメージできる。  
☞1単位でも2単位でも実施が可能である。

②各テーマの導入部に「学びの窓」を設定

☞江戸・東京を切り口とする身近な史跡・文化財を踏まえた問いかけ等で歴史を学ぶ動機づけが図られ、学習への興味・関心が高まる。

③ビジュアルな誌面構成

☞本文記述は必要不可欠なものに厳選されていて、大きくふんだんに配置された図版や写真からイメージがふくらむ。

④歴史的思考力を育成するコラムなどをすべての項目に配置

☞テキストの内容への理解が深まり、さらに発展的な学習のきっかけとなる。